

和歌山県感染症報告<速報>

Wakayama Infectious Diseases Report (WIDR)

2010年第10号(週報・月報合併号)

2010年第10週(3月8日~3月14日)、月報2月

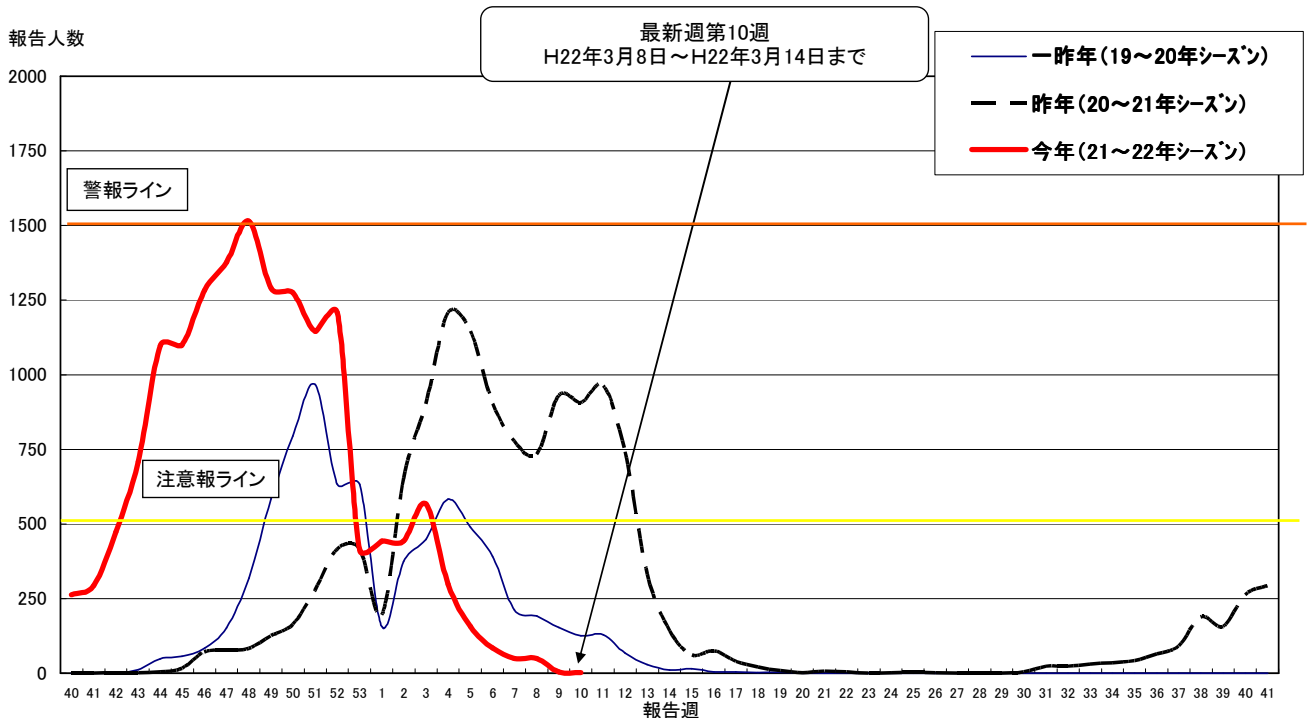
◆◆ 新型インフルエンザ関連情報 ◆◆

インフルエンザの定点当たり患者報告数は非常に少ない! (9週: 0.08人→10週: 0.04人)

今週の県全体の定点当たり患者報告数は0.04人でした。3月は、例年であればインフルエンザがまだ流行している時期ですが、今シーズンは非常に少ない状況です。これは、全国の状況と同じです。国立感染症研究所が発行しているIDWR感染症週報第8号(2月22日~2月28日)では、全国の定点当たり患者報告数は1.36人となっています。

新型インフルエンザ・季節性インフルエンザともに、予防方法は同じです。手洗い・うがいをしっかりと行い、咳やくしゃみの際の「咳エチケット」も重要です。また、咳やくしゃみ等の症状がある人は、マスクを着用するようにしてください。

インフルエンザ定点報告推移(県内50定点医療機関集計分)



- [厚生労働省新型インフルエンザ対策関連情報](#)

(<http://www-bm.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou04/index.html>)

- [和歌山県新型インフルエンザ対策本部を設置しました](#)

(<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011600/kikikanri/singatainhuruenza.html>)

◆◆ 注目すべき感染症の動向 ◆◆

－ 感染性胃腸炎：患者報告数は減少、依然報告数は多い！ －

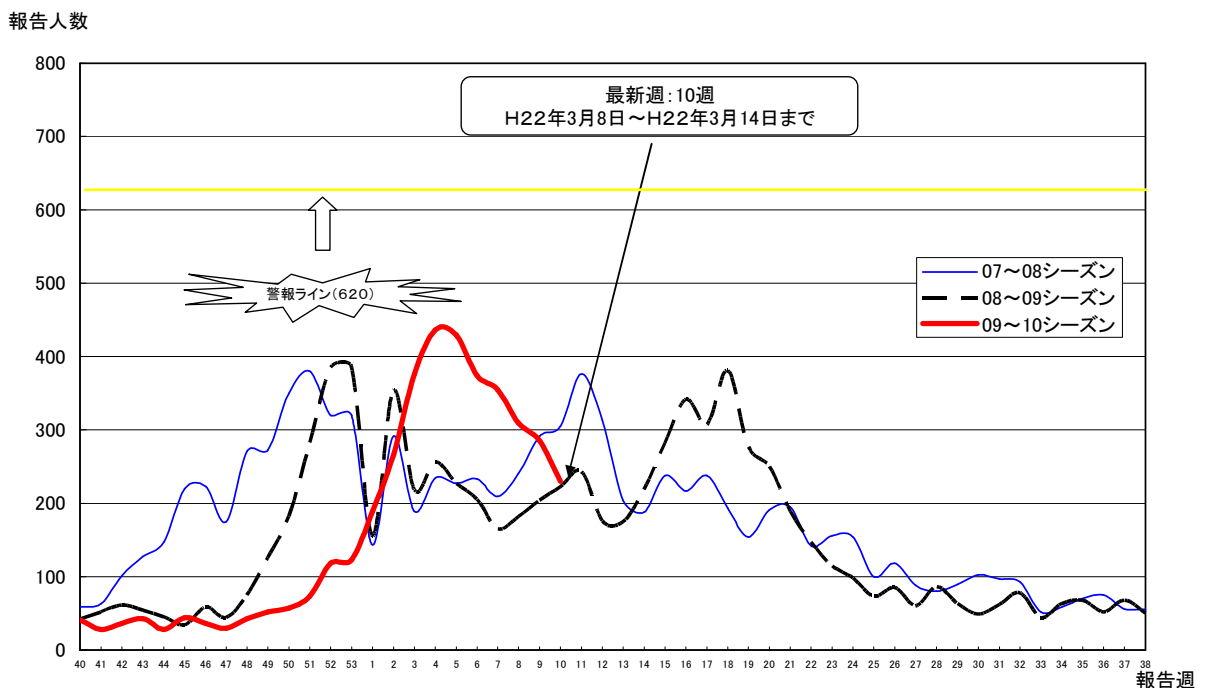
例年、冬場に患者報告数が増加する傾向があります。県全体では4週（14.06人）をピークに減少傾向となっており、今週の定点当たり患者報告数は7.24人（前週：9.50人）でした。しかし、例年と比較して多い状況が続いています。和歌山市保健所管内は、15.33人（前週：18.00人）と終息基準値を超えています。

この時期の感染性胃腸炎は、ウイルスが原因で起こることが多いといわれています。中でも、ノロウイルスが原因で起こる胃腸炎は、感染力が強く、集団発生を起こすことが、しばしばみられます。

手洗い等の予防に加え、下痢・嘔吐時の汚染物処理を適切に実施することが、感染拡大防止には重要です。（ノロウイルス情報：[ノロウイルスQ&A：厚生労働省](#)）

なお、感染性胃腸炎の警報レベル基準値は20.0人（終息基準値：12.0人）です。（定点当たり患者報告数）注意報レベル基準値はありません。

感染性胃腸炎推移(県内31定点医療機関集計分)



－ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：湯浅保健所管内は終息基準値を下回る！ －

湯浅保健所管内の定点当たり患者報告数は3.33人（前週：5.67人）と、終息基準値を下回りました。しかし、海南保健所管内は4.50人（前週：1.00人）と大きく増加しており、もうしばらく動向に注意する必要があります。

なお、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の警報レベル基準値は8.0人（終息基準値：4.0人）です。（定点当たり患者報告数）注意報レベル基準値はありません。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の詳しい説明は、[こちら](#)

－ **RSウイルス感染症** ： **報告数の多い状況が続く！** －

RSウイルス感染症は、日本では冬場に多く見られる呼吸器感染症です。県全体の定点当たり患者報告数は1.26人（前週：1.90人）と減少していますが、過去5年間の同時期と比較して非常に多い状況ですので、今後の動向に注意が必要です。

なお、RSウイルス感染症には警報・注意報レベル基準値はありません。

RSウイルス感染症の詳しい説明は、[こちら](#)

－ **流行性耳下腺炎** ： **岩出保健所管内で注意報レベル基準値を超える！** －

岩出保健所管内の定点当たり患者報告数は、3.25人（前週：2.75人）と注意報レベル基準値を超えました。なお、新宮保健所管内の報告数は減少し、注意報レベル基準値を下回りました。

また、県全体では1.61人（前週：1.50人）と増加しています。これは、全国の報告数（過去5年間の同時期）と比較して多い状況ですので、今後の動向に注意してください。

なお、流行性耳下腺炎の警報・注意報レベル基準値は警報が6.0人（終息基準値：2.0人）、注意報が3.0人です。（ともに定点当たり患者報告数）

◆◆ 全数把握感染症について ◆◆

<届出状況>

1) 当該週に診断された感染症のみ掲載しています。

1類感染症：報告はありませんでした。

2類感染症：結核 3名

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症 1名

4類感染症：報告はありませんでした。

5類感染症：報告はありませんでした。

2) 第1週から当該週までに診断された患者報告数を掲載しています。

疾病名	報告数
結核	46
腸管出血性大腸菌感染症	1
レジオネラ症	2
つつが虫病	5
急性脳炎	1
後天性免疫不全症候群	2
梅毒	2
風疹	1

◆◆ 5類定点把握感染症（週報）について ◆◆

<各保健所の警報注意報レベル状況>

警報レベル

感染性胃腸炎（和歌山市保健所管内）

注意報レベル

流行性耳下腺炎（岩出保健所管内）

<年齢階級層別の患者報告数（和歌山県）>

（インフルエンザ）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～79	80歳～
インフルエンザ	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.04	-	-	-	-	-	-	-	-

（小児科定点対象感染症）

		総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10～14	15～19	20歳～
RSウイルス感染症	報告	39	9	7	13	2	4	2	1	-	-	1	-	-	-	-
	定当	1.26	0.29	0.23	0.42	0.06	0.13	0.06	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-
咽頭結膜熱	報告	4	-	1	-	-	1	-	-	1	-	-	-	1	-	-
	定当	0.13	-	0.03	-	-	0.03	-	-	0.03	-	-	-	0.03	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	35	-	-	-	-	3	8	6	5	4	2	4	2	-	1
	定当	1.13	-	-	-	-	0.1	0.26	0.19	0.16	0.13	0.06	0.13	0.06	-	0.03
感染性胃腸炎	報告	230	1	8	22	18	22	27	22	32	14	18	14	25	2	5
	定当	7.42	0.03	0.26	0.71	0.58	0.71	0.87	0.71	1.03	0.45	0.58	0.45	0.81	0.06	0.16
水痘	報告	57	1	1	8	18	9	9	6	3	1	1	-	-	-	-
	定当	1.84	0.03	0.03	0.26	0.58	0.29	0.29	0.19	0.1	0.03	0.03	-	-	-	-
手足口病	報告	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.1	-	-	0.06	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
	定当	0.06	-	-	-	-	-	-	-	-	0.03	0.03	-	-	-	-
突発性発疹	報告	16	-	6	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.52	-	0.19	0.32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.03	-	-	0.03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	50	-	-	-	5	8	13	7	7	3	1	2	3	-	1
	定当	1.61	-	-	-	0.16	0.26	0.42	0.23	0.23	0.1	0.03	0.06	0.1	-	0.03

<保健所別の患者報告数（和歌山県）>

(-:患者報告がない、…:保健所管内に定点が存在しない)

		和歌山市	海南	岩出	橋本	湯浅	御坊	田辺	新宮	串本
インフルエンザ	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	報告	6	-	7	1	1	6	12	6	-
	定当	0.67	-	1.75	0.25	0.33	3	3	3	-
咽頭結膜熱	報告	1	-	2	-	-	-	1	-	-
	定当	0.11	-	0.5	-	-	-	0.25	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告	9	9	3	-	10	2	1	1	-
	定当	1	4.5	0.75	-	3.33	1	0.25	0.5	-
感染性胃腸炎	報告	138	20	25	13	12	8	13	1	-
	定当	15.33	10	6.25	3.25	4	4	3.25	0.5	-
水痘	報告	15	6	4	14	2	7	6	3	-
	定当	1.67	3	1	3.5	0.67	3.5	1.5	1.5	-
手足口病	報告	2	-	-	-	-	-	1	-	-
	定当	0.22	-	-	-	-	-	0.25	-	-
伝染性紅斑	報告	1	-	1	-	-	-	-	-	-
	定当	0.11	-	0.25	-	-	-	-	-	-
突発性発疹	報告	7	-	5	-	1	2	1	-	-
	定当	0.78	-	1.25	-	0.33	1	0.25	-	-
百日咳	報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	報告	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	定当	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	報告	20	-	13	1	3	2	6	5	-
	定当	2.22	-	3.25	0.25	1	1	1.5	2.5	-
急性出血性結膜炎	報告	-	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	-	…	…	…	…	…	-	…	…
流行性角結膜炎	報告	2	…	…	…	…	…	-	…	…
	定当	0.67	…	…	…	…	…	-	…	…
細菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
無菌性髄膜炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
マイコプラズマ肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…
クラミジア肺炎	報告	-	…	-	-	-	-	-	-	…
	定当	-	…	-	-	-	-	-	-	…

<院内感染症の動向>

調査の対象となる感染症の中では、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症が最も多い状況が続いています。これは、全国の状況と同じです。また、患者報告数の最も多い年齢階級層は70歳以上で全体の約60%を占めています。

その他の感染症の報告数については、和歌山県の場合、毎月0人から数人と非常に少ない状況にあります。

【2月の年齢階級層別の患者報告数(和歌山県)】

		総数	0歳	1～4	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70歳～
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	2	2	6	18
	定当	2.82	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	0.18	0.18	0.18	0.55	1.64
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
	定当	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09	-	0.09
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	定当	0.09	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.09

和歌山県感染症情報 (WIDR) 2010年第10号

発行日：平成22年3月18日

発行元：和歌山県感染症情報センター

(和歌山県環境衛生研究センター内)

和歌山市砂山南3-3-45

TEL 073-423-9570

E-mail e0318011@pref.wakayama.lg.jp

URL <http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031801/kishukko>

(お問い合わせ先)

和歌山県福祉保健部健康局難病・感染症対策課

和歌山市小松原通一丁目1番地

TEL 073-441-2643

E-mail e0503001@pref.wakayama.lg.jp

このWIDRは感染症新法に基づいて実施されている感染症発生動向調査から作成しています。ここに掲載した情報はあくまでも速報であり、今後の調査結果で訂正される可能性がありますのでご注意ください。